

業界初、IPv4 と IPv6 が混在してもセキュリティ検査が可能に 『IPv6 検査』を 8 月 25 日より提供開始

～IPv4/IPv6 トランスレータを独自開発。IPv6 環境の検査に完全対応～

グローバルセキュリティエキスパート株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：松本 松仁、以下 GSX)は、2002 年に英国規格協会(BSI)より「BS EN ISO9001:2000」の認証を取得し、高い技術力と実績を誇るタイガーチームサービスによる検査サービスを提供しています。そしてこの度、「タイガーチームサービス」による新サービスとして、IPv6 に完全対応したセキュリティ検査『IPv6 検査』の提供を、2011 年 8 月 25 日より開始します。なお本サービスは、IPv4 の環境と混在していても、従来の IPv4 と同様に多様な検査項目を IPv6 環境でも実現する、業界初のサービスとなります。
URL：http://www.gsx.co.jp/service/J1_14.html

【『IPv6 検査』の必要性】

■ IPv6 利用者増加で攻撃リスクも増大。

従来の IPv6 検査では、IPv4 に比べて網羅性が低く危険性が高かった

IP アドレス(正確には IPv4 アドレス)が枯渇したことによって、ISP からの IPv4 アドレスの新規割り当てが困難な状況となっています。これにより IPv6 アドレスが徐々に使われはじめていますが、IPv6 アドレスの利用者が増加するとともに IPv6 アドレスを割り当てた機器が攻撃される確率も高まります。

このため、IPv6 機器が攻撃されて被害を受けないためにも、セキュリティ検査を実施しセキュリティレベルの現状を把握するとともに、脆弱な箇所に対して対策を施す必要があります。しかし、現状では IPv6 に対応したセキュリティ検査用のツールが少なく、またネットワーク内で IPv4 と IPv6 が混在していることも多く、IPv6 のみに対応したツールでは十分なセキュリティ検査が受けられないといった実情があります。

GSX ではこの問題を解決するために IPv4/IPv6 トランスレータを開発しました。これを用いることにより、IPv6 アドレスを割り当てた機器に対して IPv4 に対する検査と同等レベルのセキュリティ検査サービスを提供します。

【『IPv6 検査』の概要】

■ 独自仕様の IPv4/IPv6 トランスレータを開発

IPv4 アドレスに対する検査と同等レベルの検査を実現するために、IPv4 アドレスと IPv6 アドレスを変換する機能と、IPv6 アドレスのパケットを転送する機能を持つ、独自仕様の IPv4/IPv6 トランスレータ(※)を開発しました。

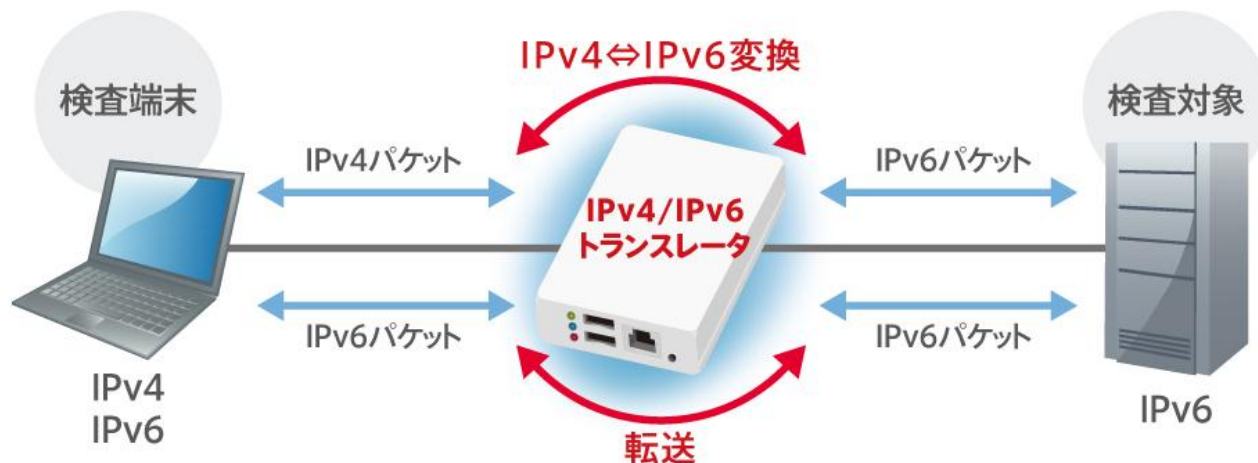
■トランスレータにより、IPv4 と同等品質の検査が IPv6 アドレスでも可能に

この IPv4/IPv6 トランスレータを検査対象と検査端末の間に設置することにより、IPv4 用ツールと IPv6 用ツールを同時に IPv6 アドレスの検査対象に対して利用することが可能となります。これにより従来の IPv4 アドレスに対する検査と同等の品質で IPv6 アドレスに対する検査を実現しています。また、IPv6 アドレスの転送機能により、IPv6 専用のツールを利用した検査も可能です。

なお、検査はお客様の IPv6 ネットワークに接続して実施する「オンサイト検査」のみの提供となります。

(※)一般的な IPv4/IPv6 トランスレータとは異なり、セキュリティ検査専用の仕様となっています。

[◎検査概要図イメージ]



[◎各種ツールの IPv6 対応状況表]

脆弱性検査ツール	IPv4	IPv6	IPv6 (IPv4/IPv6トランスレータ使用)
自動検査ツール (商用)	○	×	○
自動検査ツール (フリー)	○	○	○
ポートスキャン (TCP)	○	○	○
ポートスキャン (UDP)	○	×	○
ICMP系	○	○	○
FTP系	○	○	○
DNS系	○	△	○
メール系	○	△	○
Web系	○	△	○
RPC系	○	△	○
R系	○	△	○
Windows系	○	△	○
その他 脆弱性調査ツール	○	△	○
その他 独自脆弱性調査ツール	○	△	○

【本サービスにおける GSX のコンサルティングの特色】

●POINT 1

IPv4 アドレスに対する検査と同等の品質で IPv6 アドレスに対して検査を実施できます。

●POINT 2

IPv6 アドレスの転送機能により、IPv6 専用のツールを利用した検査も可能です。

【『IPv6 検査』スケジュール】

1.計画

希望する検査時期及び検査対象に関して、検査に必要な情報をいただきます。
(検査日時、検査対象ホスト、オプション検査項目など)

2.検査

検査は規模により複数の検査員で実施します。

3.結果分析/報告書作成

検査結果の分析/整理を行い、報告書を作成します。

4.報告/納品

検査結果報告書を作成、提出し、報告会を開催します。

【『IPv6 検査』価格】

10IP 1,000,000 円(税抜)から

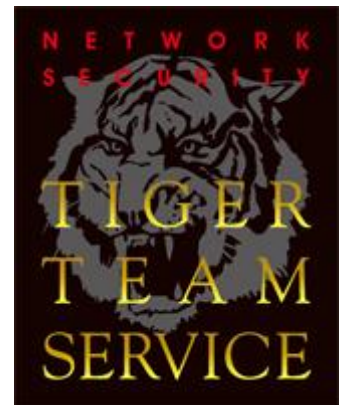
※なお、検査対象規模に応じたお見積となります。

【グローバルセキュリティエキスパート株式会社(GSX)について】

国内初の情報セキュリティ専門コンサルティング会社として 2000 年に設立され、セキュリティポリシーの導入、リスクマネジメント、各種コンサルティング、システム実装、アウトソーシングにいたる広範な情報セキュリティサービスを提供しています。また、情報セキュリティポリシーの国際標準基準となった英国規格協会(BSI)の BS7799 を日本に初めて紹介し、同協会より高品質な情報セキュリティコンサルティングを行う「アソシエイツコンサルタント会社」として認知されています。2005 年 12 月には情報セキュリティコンサルティング会社として国内最初の ISO27001 を取得しました。

さらに、高い技術を有し、システムの脆弱性の発見のために侵入検査など様々な検査を行う「タイガーチームサービス(Tiger Team Service)」を組織しており、その手法が国内においてスタンダードとなっています。

GSX に関するさらに詳しい情報は、以下の URL をご参照ください。



社名 : グローバルセキュリティエキスパート株式会社
本社 : 東京都港区南麻布 2-12-3 BBS ビル 6F
代表 : 代表取締役社長 松本 松仁
設立 : 2000 年 4 月
資本金 : 2 億 7,000 万円
URL : <http://www.gsx.co.jp>

【本サービスの報道に関するお問合せ先】

グローバルセキュリティエキスパート株式会社
事業開発部 マーケティング担当 菅田
電話 : 03-3457-1900
E-mail : mktg@gsx.co.jp